

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は、長期化する為替の円高や欧州債務問題に端を発する世界的な景気減速懸念の高まりなど、先行き予断を許さない状況にあるものと認識しています。連結業績予想は当第2四半期連結累計期間における順調な進捗を踏まえ、期初公表（本年5月10日発表）の業績予想から、現時点では変更はありません。

なお、第3四半期以降の為替レートの前提は[USドル：80円、ユーロ：100円]を据え置いております。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は当社を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートの変動など様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる可能性があります。

○ 定性的情報における記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ157百万円増加しております。